

おごせ 議会だより



6月定例会

- 定額減税等補正予算議決 ……P2
- 賛否表 ……………P3
- 町政を問う ……………P4
- 平物産口頭弁論 ……………P9
- 県外視察研修……………//
- 理想の地、越生で仙人に……P10

2024.8 No.190

越生中学校体育祭(5月18日)

令和6年度 一般会計 補正予算 8053万9千円追加

6月 定例会

- ・ 定額減税調整給付金事業
- ・ 低所得世帯支援給付金事業など

令和6年第2回定例会は、6月3日から6日までの4日間の会期で開催されました。町長から提出された案件は、承認2件、議案3件、同意5件でした。慎重審議の結果、可決・同意されました。一般質問には9名の議員が登壇し、町政に関する質問を行いました。

令和6年度越生町一般会計 補正予算(第1号)

既定の予算に8053万9千円を追加。総額46億4053万9千円とする。

賛成全員 可決

歳入

主なものは次の通りです。
物価高騰対応重点支援地方
創生臨時交付金

8048万5千円

歳出

総務費(定額減税調整給付
金事業)

4827万2千円

民生費(低所得世帯支援給
付金事業)

3221万3千円

令和6年度越生町国民健康保
険特別会計補正予算(第1号)

規定の予算に256万7千
円を追加。総額14億4036
万7千円とする。

賛成多数 可決

反対します

現在の保険証をそのまま継続
すれば新たな費用はいらない

高橋一正

そもそも、マイナンバー
カードは任意の取得となつて
いて、マイナ保険証が強制的
に作られることには、整合性
が無いものと判断致します。

さらに、マイナ保険証の作
成にあたっては、顔写真の取
れない人や暗証番号の管理が
できない人には、それらが無
いマイナ保険証を作るなどの
対応は、相当無理な位置づけ
で、その人達には現在の紙の
保険証で十分だと思います。

マイナ保険証の利用率がこ
の4月でも6.56%にとどまっ
ています。利用率の低迷は、
個人情報漏洩を不安に思う

人や必要性を感じない人が多
いことの表れだと思います。

システムの改修といって、
税金をそこにつき込むことに
は反対です。現在使っている
紙の保険証を、そのまま残せ
ば済む話です。

今回の補正予算が、「資格確
認書づくりのための予算で
すので、早急な実施の必要が
無いと判断し、反対しました。

賛成します

デジタル化はこどもまんなか
社会には不可欠

水沢 努

来年からはスマホがマイナ
保険証として使える。子供た
ちにはスマホは必要不可欠の
日常的ツール。彼らが社会人
となる頃には税金や役所への
届け、医療へのアクセスなど

は皆スマホで済ませるのが当
たり前になり、紙ベースでの
手続きを非日常的であると感
じるはずだ。この自然の流れ
を作ってあげることがこども
まんなか社会。紙ベースや対
面手続きの余裕のない子育て
世代にも優しい社会となる。
高齢者にとっては確かにデ
ジタル化の進展はついていく
のは大変だ。だが、トランジ
スタの時代を担ってきた現在
の高齢者は、若かりし昭和に
おいて当時の高齢者がついて
いけなかった様々なオート
メーション化を強力に押し進
めてきた人たちだ。自分たち
の親の世代には押し付けて構
わなかったけど、自分たちに
は認められないといったら、
それはフェアではない。こ
どもまんなか社会の実現のた
めには、デジタル化へ滞りの
ない移行が不可欠だ。



専決処分の承認

越生町税条例の一部改正

賛成全員 可決

越生町国民健康保険税条例の一部改正

賛成全員 可決

契約の締結

工事請負契約の締結（越生町中央公民館・体育館外壁等改修工事）

賛成全員 可決

越生町農業委員会の委員の任命

吉川 康雄氏（如意）
金子 公司氏（上野）
池田 吉男氏（成瀬）
浅見しのぶ氏（黒山）
佐藤 敏弘氏（如意）
賛成全員 同意

6月定例会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、休は休み、退は退席、議は議長

議案番号	名件	議 員 氏 名										審議結果	
		栗原 誠	岩田 眞一	長根 弘倫	島野美佳子	高橋 一正	関根 真一	池田かつ子	木村 正美	宮島サイ子	水沢 努		木村 好美
承認 1	専決処分の承認を求めることについて（越生町税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
承認 2	専決処分の承認を求めることについて（越生町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
議案 25	令和6年度越生町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
議案 26	令和6年度越生町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	議	可決
議案 27	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
同意 2	越生町農業委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
同意 3	越生町農業委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
同意 4	越生町農業委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
同意 5	越生町農業委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意
同意 6	越生町農業委員会の委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意

町政を問う！

☆全質問事項は下記のとおりです☆

◆質問議員と質問事項◆

1 水沢 努

- ① 10年後には3軒に1軒が空き家。協力隊と町民の連携で空き家バンクの充実を
- ② 町営樹木葬墓苑の拡張・新設で持続的な教育・子育て支援体制の確立を
- ③ 「地震に強い越生町」のアピールはこれからの時代、決定的に重要だ

2 岩田 眞一

- ① こどもの事故について
- ② 町にある耕作田について
- ③ 如意信号機設置に関する再質問

3 木村 正美

- ① 食品衛生法改正による影響は
- ② 人の集う屋外に日除け対策を
- ③ 地域計画で越生の農業の将来展望を

4 高橋 一正

- ① 安心して運転免許証の返納ができる越生町をめざして
- ② 国民健康保険税の引き下げをめざして
- ③ 正規職員があたりまえの越生町役場に

5 長根 弘倫

- ① 安全なハイキングコースを
- ② 人口減少を少しでも止められるか

6 島野 美佳子

- ① 防災につながる地域づくりを
- ② 子どもの居場所とネットワーク創設を

7 池田 かつ子

- ① 高齢者がいつまでも元気で活躍できる越生町に
- ② 町民の健康維持増進のための施設設備の充実を目指して
- ③ 単身高齢者の支援の取り組みは

8 宮島 サイ子

- ① 訪問型の産後支援の充実を
- ② 相続・終活に関する取り組みについて

9 関根 眞一

- ① 区民登録の実態が崩れていないか
- ② 平物産の進捗は、どのような展開になったのか
- ③ 町長選費用を無駄遣いとしないための、方策はないのか



記載した本文は、質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿をそのまま掲載しています。
(別掲の議員名を付した文章も、すべて同様の扱いです)
全文は、図書館等に置いてある会議録か、インターネット(越生町ホームページ内「会議録検索システム」)で閲覧することができます。

一口メモ

一般質問の人数制限はありません。一問一答方式で、一人あたりの質問時間は60分以内です。質問を行う議員は、事前に議長あてに「こんな質問をします」という通告を行います。

自主財源確保なしで毎年3〜4千万円の持ち出しは危険だ

水沢 努



問 町は小中学校や保育園の給食費無償化を決定した。これは教育・子育て支援の施策として大いに評価できる。だが、問題は毎年3〜4千万円の財政負担となることだ。財政力の乏しい越生町に大きいのしかかる。この現実を直視しないと崇高な理想も裏目に出てしまう。そこで自主財源の確保が必須となる。その場合、樹木葬墓苑の剰余金を積み立てた「越生町教育及び子育て環境整備基金」は財源の一つとして考えられないか。また、そのことによって「ゆりかごから墓場まで」を実現するユニークな町としてアピールできる。

答 樹木葬墓苑の収入は令和2、3年と2千万円台が続き、令和4年度は

3425万円、令和5年度は5197万円、令和6年度は1か月だけで120万円、本年度中に満杯の700区画に達する見込みだ。昨年度までの収支は1億6549万円のプラス。基金の積立額は墓苑管理整備基金が9500万円、教育及び子育て環境整備基金に1964万円。後者は給食費にはあてずに、タブレット教材更新時の経費に回す予定だ。

問 樹木葬墓苑も今年度で満杯になる。さらに拡張・新設し自主財源を確保すべきではないか。

答 墓苑事業にはリスクがある。その予定はない。

問 (答求めず) 需要がうなぎ上りの墓苑事業よりも、毎年3〜4千万円持ち出しの方がよっぽどリスクがあることは誰の目にも明らかではないか。

県内順位 (令和6年度)	市町村名	令和5年度 (R3~R5平均)	令和4年度 (R2~R4平均)	令和3年度 (R1~R3平均)
56位	神川町	0.483	0.489	0.497
57位	横瀬町	0.477	0.500	0.511
58位	越生町	0.462	0.480	0.502 (57位)
59位	皆野町	0.388	0.396	0.409
60位	ときがわ町	0.378	0.389	0.407
61位	長瀬町	0.360	0.376	0.392
62位	小鹿野町	0.302	0.307	0.319
63位	東秩父村	0.179	0.187	0.195

越生町3年間で財政力指数ランクダウン
準過疎地域に転落

こどもの事故、町の耕作田、如意の信号機

岩田 眞一



問 1 こどもの事故
こどもが暑い中、送迎バスに置き去りで亡くなった事例が、全国で続いたので質問する。

答 5年間のこども事故件数。死傷者は。

問 2 町の耕作田
耕作田と未耕作の面積、耕作者数、高齢化は

答 119ha、未耕作は93ha、59名、70歳以上割合59%。

問 3 如意の信号機
信号を半感応式にするためには、町道整備が必要であるがどうか。

答 現時点では交差する町道の整備計画はない。

問 大谷区の様子は。

答 10年以上前から全世界帯が会員となり、大谷地区ふるさとづくり協議会には多面的機能支払交付金制度で111万円。

問 ほかに補助の希望は。

答 成瀬、小杉。

問 他市町村での成功例は。

答 観賞用の桜の栽培。如意の田の転用は。

問 国補助の整備なので田以外にはできない。

答 今後、町の考えは。農道など基盤整備し、農地バンク制度で新規就農者や定年帰農者の確保。

問 信号を半感応式にするためには、町道整備が必要であるがどうか。

答 現時点では交差する町道の整備計画はない。

問 県は整備計画をだすことで検討したいと言ったこともあったが、町は何も出せないのか。

答 この町道整備は膨大な予算がかかり、仮でも責任が負えず出せない。信号機設置は難しい問題だ。



いつまでも残してほしい耕作田

地域計画で農業の見える化を 遊休農地解消に新規就農者を

木村 正美



○農業従事者の高齢化と後継者不足が深刻化し、当町でも耕作放棄地の増加・拡大が懸念される状況にある。

問 5年毎の農林業センサスの調査年だが調査対象件数は。

答 調査の中で把握される。前回は705件。調査項目に大きな変更はないと考える。

問 過去の調査結果から我が町の農業の特性をどう見るか。

答 中山間地域農業で耕地面積が少なく小規模経営の農家がほとんどである。

問 農地情報管理システムはどんな情報を集積しているか。

答 まちづくり整備課の地図データ、税務課の地番図、民間の住宅地図

に都市計画図も重ね総合的に活用可能なデータベース化し、農家台帳・農地台帳の検索、更新や証明書発行、資料作成など、農業委員会事務局の支援に利用している。

問 そのシステムで不在地主の数と所有面積は分かるか。

答 把握できていない。令和7年3月末までに作る地域計画は、農地の白地図に担い手の決まった調査結果を色塗りし、目標地図を作ることだと思いが工程計画は。

問 圃場整備の済んだ地区及び保全活動の地区を優先し、農地の出し手と受け手、地域の方との集会を開催し地域計画案を作成し、農業委員会やJAなどの意見を聞き、年内完了を目指す。

問 高齢化と後継者が居ない中で農業は誰が守るのか。

答 現状認識の中で新規就農者に期待をしており、情報提供や定着支援などのメニューも用意している。

問 近隣では農林業センサスを判断して新規就農を推進している。危機感が無いのでは。

答 新規就農の希望はあっても本人の資質の問題や、耕作する農地の確保もあり、農地バンク制度などで対応を急ぐ。



休耕田が増え田園風景が消滅する

意見を寄せて 国保の均等割 地域交通問題 就学前無料に

高橋 一正



問 越生町においても、単身での高齢世帯が多くなっている中で、運転免許証の返納問題は喫緊に解決をみなければならぬ。まずは路線バスの増便は考えられないか。

答 運転手不足もあり、増便は難しいものと思う。

問 路線バスの運行がない地域の問題は、循環型の小型バス（コミュニティバス等）を走らせるか、乗合タクシーを考えたければならない。試験的に試みることはできないか。

答 「地域公共交通会議」等の必要があり、簡単にはできない。そこで、まずは勉強会を開き、皆様の意見交換をしたい。

問 町民にとってもっとも身近な、国民健康保険、介護保険、後期高齢者保

険などの保険税（保険料）が軒並み引き上げられている。しかし、埼玉県でも、全国でも多くの自治体が自治体独自の減免制度で、保険税の引き下げを図っている。昨年度から、国は未就学児に対する国保税の半額補助を実施している。それは、何人でいくらか。

答 25世帯・28人で軽減額は27万5100円。

問 もう半額を町から出して、無料にできないか。

答 新たな拡充は難しい。2020年4月より、非正規の職員が会計年度任用職員という名称に変わった。正規職員と会計年度任用職員の人数は。

答 正規職員117名、会計年度任用職員68名。

問 昨年度の合計残業時間数は。

答 1万1118時間。残業を半分に抑えるには何人の職員が必要か。

答 計算上では、3人正規職員が増えれば可能。

問 会計年度任用職員は1年契約だが、引き続き採用されている人は。

答 68名中、5年以上続けているの採用は39名、4年は5名、3年は5名、2年は12名。

	所得割	均等割	課税限度額
医療給付費分	所得の7.4%	30,800円	65万円
後期高齢者支援金分	所得の2.0%	11,100円	24万円
介護給付金分 40～65歳未満の方のみ	所得の1.9%	14,800円	17万円

安全なハイキングコースを 上野の森プレイパーク目的は

長根 弘倫



中学生防災士に期待 子どもの居場所ネットワーク

島野 美佳子



問 龍穩寺からヤマザクラ山に向かう林道でのり面が、今にも崩れそうな危険箇所がある。補修はできないか。

答 すでに通行注意の看板2か所、落石注意の看板を4か所設置しており、利用者には注意喚起しています。また、大雨、台風などの影響で、安全が確保できない場合は、通行止め等の、対応をします。

問 大高取山、山頂付近の間伐材を利用したイスは、斜面で不安定です。固定できるか。

答 使用する際の注意を記載した案内を掲示するなど、観光協会にお願いしていきます。

問 山道コースを歩くハイカーに熊よけの笛や鈴等を配布できないか。

答 笛や鈴などハイカーご自身が準備し、来町していただけるよう促してまいります。

問 上野の森プレイパークは、どのように利用するのか。

答 子ども達の参加者を募集し、自然を利用したブランコ、ハンモック等、森に親しむ活動を実施しています。手洗い所やトイレは無く少し遠いのですがOパークを利用していただくこととなります。

問 昨年の新規就農者の人数と支援方法は。

答 新規就農者は、研修を受けている方2名、卒業された、すでに営農されている方が2名で計4名です。支援としては、経営開始資金事業、機械や施設等の導入を支援する経営発展支援事業などの、

助成制度があります。

問 越生町の銘菓、「一里飴」は、補助制度を活用して商店経営を支援し、再開はできないか。

答 埼玉銘菓で「一里飴」をブランド推奨していましたが、断腸の思いです。しかし、4月下旬に住吉屋さん自らが外注で、製造を再開して、うめその梅の駅や、オーティックなどで販売しています。また、補助金制度は、商工会が窓口で、申し込みは今の所ありません。

助成制度があります。



龍穩寺先の林道クマ注意の看板

問 町は能登半島へ2名の職員を派遣した。大災害のあった年こそ、防災について再考すべき。地域づくりモデル事業に防災があってもよいのでは。

答 防災だけを特別に推奨するのは難しいが、事例に防災訓練に関する事業を加えたい。

問 普段から、区長さんはじめ区の役員さんの負担は大きく、特に防災は荷が重いと聞いている。戸田市や川口市では中学生防災士を増やす取り組みをしている。従来、中学校で行っている年3回の避難訓練から一歩踏み込んで、総合的な学習の時間などを活用して、防災に取り組んでは。

答 研究を進めたい。6月現在、町内にある子どもの居場所は。

答 子ども食堂1団体、学習支援1団体、プレイパーク等2団体。

問 子どもの居場所ネットワーク創設の考えは。

答 国の指針によると、子どもの居場所づくり推進には、連携と共同が必要不可欠で、地域の多様な居場所づくりの担い手を集めたネットワークが必要とされている。町も同様に考えている。

問 ネットワークの調整役、推進役として、地域おこし協力隊などの制度を活用する考えは。

答 子どもの居場所の代表者は、仕事や事業で時間的な余裕がなく、調整役、推進役になることが非常に難しい。この重要な役割を熱意をもって意欲的に活動する方が適任。地域おこし協力隊な

どの制度を活用して人材が得られれば大変ありがたい。

問 具体的にどのような人材を求めるのか。

答 若い子育てママからの相談事などにも対応できる方、できれば20代から40代までの方で、現在の隊員は男性2名なので、次は女性の方をお願いしたい。



子ども食堂への関心は高い(3月の相談会)

高齢者の豊かな暮しのために 安心安全な町の体育館へ

池田 かつ子



問 高齢者の活動・活躍の場は。

答 高齢者が気軽に立ち寄れる交流の場であるふれあいルーム。元気な高齢者等ボランティアが支援を必要とする高齢者を地域で支える仕組みを推進する支え合い事業。

問 シルバー人材センターの現在の会員数と最多時の会員数は。

答 令和5年度末106名。最多時は128名。

問 業務内容は。

答 草刈りや会社の清掃、梅・柚子の剪定と収穫、公民館の受付業務等。

問 会員が減少しているが受け入れ状況は。

答 随時募集。入会希望者には、説明会を実施し、希望者の経験や希望を把握し、受け入れを行って

いる。

問 会員の高齢化が課題となつているが今後の運営は。

答 豊かな経験と知識を持つている元気な高齢者が社会を支える労働の担い手となつていくため、高齢者が働きやすい環境や就労形態の構築を考えていく。

問 中央公民館の体育館吊り天井工事により、明るくなった半面、まぶしくてスポーツ種目によっては支障が出るが対策は。

答 本年度7月から屋根及び外壁等の改修工事を予定している。改修工事にあたり、彩光等についても調整していく。

問 高齢者夫婦のみ世帯数と高齢単身世帯数は。

答 令和2年度調査では夫婦のみ世帯は801世帯、単身は625世帯。

問 高齢単身世帯の町の関わりは。

答 地域包括センターの蓄積情報等により見守りと家庭訪問を実施。

問 高齢単身世帯者への終末期支援は。

答 本人の気持ちに寄り添い行政はじめ様々な支援を行っていく。



建設以来初の化粧直しを待つ体育館

訪問型の産後支援の充実を 相続・終活に関する取組みは

宮島 サイ子



問 ①「産後ドゥーラ」の内容の把握は。②2歳までの乳幼児を育てる伴走型の支援は。③民間業者に乳幼児育児支援を受けた場合の助成は。④希少な「ドゥーラ」よりも「ヘルパー」の方が利用しやすい面がある。越生町でも育児ヘルパーの利用は可能か。⑤乳幼児を育てる家庭を応援するため、ヘルパー派遣事業を推奨する。見解は。

答 ①一般社団法人ドゥーラ協会が立ち上げた民間資格。②国の「出産・子育て応援事業」を実施。この事業は、伴走型相談支援と経済的支援を一体としているもの。③現在、助成制度はない。④育児・家事ヘルパーの把握ができておらず、今

のところ利用はできない状況にある。⑤保健センターでは、今年度から「産後ケア事業」を実施する予定で準備を進めている。まずはこの事業から実施してまいりたい。

問 ①相続登記の義務化の周知は。⑦現在、相続登記がなされていない件数は。④周知状況と反響及び今後の実施予定は。⑤身寄りのない人が亡くなった場合の不動産の処分は。「管理不全空家」の件数は。②戸籍証明書等の広域交付の周知は。③終活支援の充実は。どのような支援や呼びかけができるか。

答 ①⑦納税義務者を引き継ぐ者がいない課税保留の土地は令和6年1月1日現在で36筆、家屋は

18棟ある。①納税通知書発送の際にチラシを同封した。電話の問い合わせが数件あった。⑦家裁で選任された清算人が相続財産を清算、最終的に残った財産を国に引き継ぐ。管理不全空家の認定はしていないが、県の認定基準が示されたら該当するか適宜判断していく。②ホームページ及び広報誌、窓口等で利用案内をしている。③終活ノート活用していく事と考えている。

産後の不調や育児不安等を抱える母親に支援を



産後の不調や育児不安等を抱える母親に支援を

区民登録の減少は町の危機 平物産の裁判と今後の推移

関根 真一



平物産(株)第1回口頭弁論
傍聴記録 議会代表 関根真一

日時 令和6年6月17日
(月)15時〜約1時間
場所 さいたま地方裁判所 川越支部3号法廷

【内容】 被告代表者・平物産(株)代表取締役に対し、平物産代理人弁護士および町代理人弁護士による尋問が、それぞれ20分間程度行われた。

【尋問】 提出され確認された書面に基つき、質問平物産 ㊦河川の占有について、平物産は不法と言われているが。㊧会社は水で苦勞してきた。町に相談し、町からの治水対策が実施されず、ヒューム管を入れることを町に伝えた。㊨町の対応はどうだったか。㊩担当者に来て、「判は押せないが使ってよい」と返事を得た。

㊪ヒューム管はいつ埋設したか。㊫思い出せない。㊬判がないことを疑問に思わなかったか。㊭判はダメ、使ってよい

を信じた。㊮その上に床を作っている。㊯はい。㊰それは、治水に関係あるか。㊱ない。(㊲は弁護士略。枠に限りがあり、記録はごく一部)

県外視察研修 群馬県 上野村

6月17日、同日となった平物産訴訟の傍聴に代り、10名の議員と、地域おこし協力隊2名、新規就農者3名、産業観光課職員2名で群馬県の上野村を視察した。

上野村は、面積の約95%が森林であり、その森林資源を活用し、古くからバイオマス利用に取り組んでいる。

バイオマス取り組みの原点は林業の再生で、村外に流出するエネルギーコストを村内にとどめ、資金還流を起こし、そこから所得を生み、村の経済をまわすというもの。

間伐材や端材などをエネルギーに利用する目的で考えられたのが木質ペ

レット製造で、平成23年から開始。村内でボイラーやストーブへの利用が開始されたが、生産能力に見合う需要はなかった。

その後、きのこセンターの整備に合わせ電気を賄うためのバイオマス発電を設置することで、バランスよく需要が生じることから発電機を整備。これで、原点である灯油や電気で流出するコストを抑える経済循環の仕組みが完成した。

人口は本年6月で、1066名。内I(アイ)ターン2割。これからも上野村の挑戦に注目したい。



上野村ペレット工場内



「広報おごせ」から

問 町内各區で、住民の区民登録をしない方が増えていきます。これは今後の行政に大きく関係することです。町は、その実態を把握していますか。
答 全区長会でお話を伺ったところ、全区の共通課題だと分かりました。が、町として実態を把握しておりませんでした。

問 移住者には、区の役員も親切に案内するのですが、役員や組長に推薦された際に、辞退・退会へとつながっています。
答 町としても移転登録時に、区民登録の必要性を伝え、親切に案内をしています。ただ、町には強制力はなく、限度があります。
問 問題となるのは、並行して、区の役員のなり手にも人口減少が響き、

問 口頭弁論はいつ行われますか。
答 6月17日(月)15時、さいたま地方裁判所川越支部で行われます。
問 進捗が遅く、弁護士へ支払う経費面が心配です。
答 弁護士と連携を密にし、推進して参ります。

問 この問題が、全国に広まっていることも知りませんでした。行政としても、区民の協力を頼むことは多く、本町や各區にとつて有効な事例を紹介して、防止に努めて参ります。
問 平物産の進捗はどんな状況でしょうか。
答 裁判手続きに則り「WEB期日」裁判は、計4回行われました。

問 難しくなっています。その役員は区において、一部行政支援もしています。この先、広報の配布や回覧の伝達が不可能な区も現れることでしょうか。
答 また、区民登録をしないことで、区の行事、防災支援に不参加のため、災害時に強い連携は期待できません。その防止の意味から、町の今後の姿勢を問います。

問 裁判手続きに則り「WEB期日」裁判は、計4回行われました。

美と剣の道を求め辿り着いた
理想の地・越生で仙人になる

陶芸の創作拠点を求めさまよい、出会った理想の地・越生に25年前に移住。今や剣道と陶芸界隈では知る人ぞ知る森田裕彦さんに聞きました。

★もともと美容師だったと空の境地が分かり始めた



越生郵便局駐車場に描かれた森田さんの画。20年以上昔、当時の郵便局長から依頼されて作画がはじまった。それ以降、季節の移ろいとともに描きかえられている。越生の隠れた名所だ。

大宮駅前で「ビューティーアトリエ・ヤスヒコ」という美容室を営んでいました。母が美容師だったんです。本当は絵描きになりたかったのですが、中学卒業したら美容師の学校に。その後、自分の店を持ち15年間続けました。でも胸の奥には芸術の火が燃っていた。美容師になったのも美の追求というテーマがあったからなんです。そんなある日、陶芸家のお客さんと出会うことに。人生の転機でした。美容室をたたんで陶芸家になろうと決心したのです。

★仙人小屋も自作ですね

全部一人で作りました。ものの作りが大好きなんです。鋸（かすがい）を使い、釘は一本も使っていません。実は父が大工だったんですよ。血は争えないですね。ちょうど近くの古民家が解体直前で、柱を譲ってもらいました。チェ



陶芸家・仙人窯主宰
森田 裕彦さん

★剣道もやるそうですね

80歳になったら六段の試験を受けようと思っていたのですが、いざ80になってみて、ちよつと体力的に無理かなと今は毎週土・日に子どもたちに剣道を教え、月曜日には元警視庁の先生を招き仲間たちと稽古をしています。

★剣と芸術、宮本武蔵ですね

武蔵の流儀である二刀流にはあこがれましたね。でも近くには指導者がいませんでした。剣道は芸術と同じで奥が深いですね。今でも発見があります。この歳になりやっと『五輪書』の空の境地が分かりかけてきました。

議会を傍聴
しませんか

町議会には、年4回（3月、6月、9月、12月）開かれる「定例会」と、必要がある時に開かれる「臨時会」があります。どちらも一般公開され、傍聴することができます。

議会議員が、議会でどんな活動をしているかを直接見たり、聞いたりすることができ、町の動きを知ることが出来ます。議会の開催情報などはホームページに掲載しております。「越生町議会」で検索してください。



議会傍聴者数

本会議	傍聴人数
6月3日(月)	4
6月4日(火)	7
6月5日(水)	5
6月6日(木)	9
合計	25

編集後記

地球温暖化は、気温を上昇させるだけでなく地球全体の気候を大きく変える「気候変動」を引き起こす。既に世界各地では、自然環境や人の暮らしに、さまざまな影響や被害が現れており、その深刻さから近年は「気候危機」という言葉も使われている。6月には、「越生梅」の収穫にも影響が出た。春の天候不順で花粉を運ぶミツバチの働きが鈍ったことが理由として考えられる。生産が平年の3割と「まれにみる不作」でイベント等が中止になった。これは、地球温暖化と考えられる。また秋には、「ゆず」が受粉方法は違うが、収穫は注視しなければならぬ。

(長根 弘倫 記)

委員長

水沢 努
関根 真一
高橋 一正

アドバイザー

鳥野美佳子
長根 弘倫
岩田 真一
栗原 誠
木村 好美

議長

木村 好美

